

子育て支援策について

丑久保 恒行議員

・質問 次の点について伺いたい。

出生率の低下に対する予算反映と効果について
高齢化対策と子育て支援対策のバランスについて
要保護児童対策地域協議会の構成、内容について
児童虐待件数の推移と防止

キャンペーンの実施について

・答弁（市民福祉部長）
平成十六年度は、児童手当と乳幼児医療費の支給対象年齢を拡大、平成十七年度は、新規事業として、アレルギー等対応特別給食事業や子育て支援協議会への支援などを行ってきた。今後も子育てに

対する諸施策を推進していきたいと考えているが、すぐに効果が上がるものではなく、将来にわたり少子化の抑制につながるものと期待している。



おともだち何人できるかな？
（第3保育所入所式）

高齢化対策と子育て支援対策は、ともに市民の暮らしを守る重要な施策であり、今後モバランスを考えた予算措置を講じていきたい。

要保護児童対策地域協議会の構成メンバーは、現在ある児童虐待防止ネットワーク会議の十五機関に児童養護施設の二機関と羽生市医師会を加えた十八機関を予定している。
また、協議会では、要保護児童等に関する情報交換や支援の協議を行う予定である。
熊谷児童相談所管内におけ

る児童虐待件数は、平成十五年十四件、十六年度十二件本年度は二月末までで五件となっている。
防止キャンペーンについて
は、保育連絡協議会をはじめ校長会、幼稚園協会等の児童福祉関係機関と連携し、児童・保護者に周知を図っているところである。

その他の質問

・市学校給食センターのあり方について
・団塊世代への対応について

地域安全対策の推進（防犯パトロールの強化）について

蜂須 直巳議員

・質問 次の点について伺いたい。

自主防災組織に対し、必要な資機材は行政で支援する必要があると考えるが、見解を伺いたい。
自主防犯意識の底上げ策として、リーダー講習会等が必要と考えるが、見解を伺いた

・答弁（総務部長）
本市における主な支援対策としては、市内全小学生への防犯ブザーの配付や防犯のまちづくり推進協議会の各団体への防犯ステッカーの配付を行ってきた。
また、防犯パトロール用品

として、各自治会、小・中学校に腕章、帽子、ベストを三百セット配付している。
本年度は、防犯パトロール車両を購入し、自治会等への貸し出しを開始し、十八年度は小学校におけるスクールボランティアへのベストの配付を予定している。

今後モ防犯機材の支援により、自主防犯活動の拡大を図っていきたい。
防犯対策については、これまで警察を中心とし実施してきたが、犯罪のないまちづく

りを推進するためには、行政地域住民が警察と連携し、防犯活動を実施する必要があることから、羽生市防犯のまちづくり推進協議会を設置したところである。
十七年度は、協議会を中心に防犯活動を実施してきたが、今後、より継続的、効果的に活動を実施していくためには、地域住民の自主的な取り組みを行政が支援していくという市民主導型の体制づくりが必要と考えている。
そのためにも、地域で防犯

活動を展開していく地域リーダーが必要であると考え、十八年度において、地域防犯リーダー講座を開催し、人材育成を図っていく予定である。
なお、講座の内容については、空き巣・引つたくり対策、少年非行問題、悪質商法対策、暴力の追放と根絶などを予定している。

その他の質問

・市町村合併問題について
・地震情報と地震計の設置場所について